



平成25年 7月26日
開会



子ども市議会を終えて

平成15年より開催いたしております「べっぷ子ども市議会」も今回で11回目を迎えました。

子供たちの一般質問や提言を聴き、生まれ育った別府への熱い思いを実感すると同時に、今後、別府市の将来を担う子供たちが大勢育っていることに改めて感動いたしました。

子どもたちが身近に感じている問題は「まちづくり」の原点そのものであり、毎回のことながら我々市議会も初心に帰る素晴らしい機会を与えていただいているのではと考えています。

この子どもたちが大人になった時に、今回の経験を活かし、将来別府市発展のためリーダーとなっただけの人材が必ずや現れるものと確信いたしております。

終わりにりましたが、子ども市議会の開催にあたり、ご協力をいただきました各小中学校の先生方、市PTA連合会、市子連の皆様方に対しまして、心より敬意と感謝を申し上げます。



別府市議会議長
吉富英三郎

将来の別府を担う 子ども市議会

第11回を迎えました小学生と中学生の議員による「べっぷ子ども市議会」は、次世代を担う子どもたちの鋭い視点と創造性豊かな提言により、実り多き、大変素晴らしい子ども市議会となりました。

ふるさと別府に愛着と誇りを持ち続けることを誓われた「私たちが誇れる町・別府」と、「いじめのない学校を目指して」の、2つの素晴らしい宣言をいただきました。

子ども達の未来を見据えた宣言に、私たちは夢と希望に満ちあふれる別府をめざし、次世代の子どもたちのためのまちづくりを進めなければならないことを改めて認識することができました。

第11回「べっぷ子ども市議会」の開催にご尽力いただきました先生方、保護者の方々、関係者の皆様にご心から感謝を申し上げますとともに、「べっぷ子ども市議会」のますますの発展をご期待いたします。



別府市長
浜田博

議長



時枝 真暉 議員
(山の手中2年)

副議長 (兼 子ども宣言)



永田 敦寧 議員
(北部中2年)

一般質問



大林 優 議員
(西小6年)



縄田 要偲 議員
(石垣小6年)



宮部 葵 議員
(大平山小6年)



羽田 鉄馬 議員
(春木川小6年)



戸高 千怜 議員
(青山小6年)



工藤 祥啓 議員
(上人小6年)



秦 優希菜 議員
(朝日小6年)



吉本 伊央利 議員
(亀川小6年)



大野 由惟 議員
(別府中央小6年)



武内 あや菜 議員
(境川小 6年)



齋藤 渉武 議員
(南立石小 6年)



松岡 儀樹 議員
(緑丘小 6年)



山口 大輝 議員
(東山小 6年)



吉野 吏 議員
(南小 6年)



衣川 美紗子 議員
(鶴見小 6年)

提 言

子ども宣言



江原 優斗 議員
(朝日中 3年)



清末 太一 議員
(鶴見台中 2年)



田川 美綺 議員
(浜脇中 2年)

謝 辞



工藤 帆夏 議員
(中部中 2年)



高瀬 さくら 議員
(青山中 1年)



上園田 明真海 議員
(東山中 2年)

第11回「べっぷ子ども市議会」会議録 目次

・会期-----	1
・会期日程表-----	1
・子ども議員提出議案議決結果-----	1
・一般質問者一覧表-----	1
・提言者一覧表-----	3
・出席議員-----	5
・欠席議員-----	6
・説明のための出席者-----	6
・主催者等出席者-----	6
・議会事務局出席者-----	7
・議事日程（第1号）-----	7
・本日の会議に付した事件-----	7

[開 会 式] 目次

・開 会-----	9
・主催者紹介-----	9
・議長あいさつ-----吉 富 英三郎 議長-----	9
・閉 会-----	10
・子ども議長、子ども副議長紹介-----	10
・出席議員数の報告-----	11

○第1号（7月26日・金曜日）

・開 会	-----	11
・議席の指定	-----	11
・会議録署名議員の指名	-----	12
・会期の決定	-----	12
・一般質問	-----	13
	質問者・大 林 優 議員	-----
	答弁者・寺 岡 悌 二 教育長	-----
	浜 田 博 市長	-----
	質問者・縄 田 要 愨 議員	-----
	答弁者・寺 岡 悌 二 教育長	-----
	浜 田 博 市長	-----
	質問者・宮 部 葵 議員	-----
	答弁者・寺 岡 悌 二 教育長	-----
	浜 田 博 市長	-----
	質問者・羽 田 鉄 馬 議員	-----
	答弁者・浜 口 善 友 生活環境部長	-----
	浜 田 博 市長	-----
	質問者・戸 高 千 怜 議員	-----
	答弁者・糸 永 好 弘 建設部長	-----
	浜 田 博 市長	-----
	質問者・工 藤 祥 啓 議員	-----
	答弁者・浜 口 善 友 生活環境部長	-----
	浜 田 博 市長	-----

質問者・秦	優希菜	議員	-----	23
答弁者・浜	口善友	生活環境部長	-----	23
	浜田博	市長	-----	24
(休憩・再開) -----				24
質問者・吉	本伊央利	議員	-----	25
答弁者・大	野光章	企画部長	-----	25
	浜田博	市長	-----	26
質問者・大	野由惟	議員	-----	26
答弁者・寺	岡悌二	教育長	-----	27
	浜田博	市長	-----	27
質問者・武	内あや菜	議員	-----	28
答弁者・浜	口善友	生活環境部長	-----	28
	浜田博	市長	-----	29
質問者・齋	藤涉武	議員	-----	29
答弁者・伊	藤慶典	福祉保健部長	-----	30
	浜田博	市長	-----	30
質問者・松	岡儀樹	議員	-----	31
答弁者・浜	口善友	生活環境部長	-----	32
	浜田博	市長	-----	32

	質問者・山口大輝	議員	-----	33
	答弁者・亀井京子	ONSENツアーズ部長	--	33
	浜田博	市長	-----	34
	質問者・吉野 吏	議員	-----	34
	答弁者・寺岡 悌二	教育長	-----	35
	浜田博	市長	-----	35
	質問者・衣川美紗子	議員	-----	36
	答弁者・浜口善友	生活環境部長	-----	36
	浜田博	市長	-----	37
	(休憩・再開)		-----	37
・提言の発表	提言者・江原優斗	議員	-----	38
	答弁者・浜田博	市長	-----	38
	提言者・清末太一	議員	-----	39
	答弁者・浜田博	市長	-----	39
	提言者・工藤帆夏	議員	-----	40
	答弁者・浜田博	市長	-----	40
	提言者・高瀬さくら	議員	-----	41
	答弁者・浜田博	市長	-----	42

・ 議員提出議案第 1 号・第 2 号子ども宣言について、一括上程	42
・ 提案理由説明	田 川 美 綺 議員 42
・ 表 決	43
・ 提案理由説明	永 田 敦 寧 議員 44
・ 表 決	45
・ 閉 会	45

[閉 会 式] 目 次

・ 開 会	46
・ 市長あいさつ	浜 田 博 市長 46
・ 記念品の贈呈	寺 岡 悌 二 教育長 47
・ 子ども議員代表者謝辞	上園田 明真海 議員 47
・ 閉 会	47

第11回「べっぷ子ども市議会」会議録

○会 期 平成25年 7月26日(1日)

○会期日程表

平成25年 7月26日(金) 本会議 議席の指定、会議録署名議員の指名、会期の決定、一般質問、提言、子ども議員提出議案第1号・第2号「子ども宣言について」

○子ども議員提出議案議決結果

子ども議員提出議案第1号「私たちが誇れる町・別府」子ども宣言について

平成25年 7月26日 原案可決

子ども議員提出議案第2号「いじめのない学校を目指して」子ども宣言について

平成25年 7月26日 原案可決

○一般質問者一覧表

質問 順位	質 問 議 員	質 問 項 目
1	3番議員 西小学校 大 林 優	小学校統合に向けて、安全に登下校できる環境づくりについて
2	10番議員 石垣小学校 縄 田 要 偲	図書館の駐車場の広さや活用について
3	13番議員 大平山小学校 宮 部 葵	学校図書館の充実について

4	11番議員 春木川小学校 羽 田 鉄 馬	観光客が気持ちよくすごせる環境づくりについて
5	4番議員 青山小学校 戸 高 千 怜	高齢者について
6	8番議員 上人小学校 工 藤 祥 啓	観光地として美しいまちづくりについて
7	9番議員 朝日小学校 秦 優希菜	地熱発電について
8	7番議員 亀川小学校 吉 本 伊央利	津波（地震）の避難場所について
9	15番議員 別府中央小学校 大 野 由 惟	学校に足湯で温泉都市らしさを！
10	1番議員 境川小学校 武 内 あや菜	野良ねこ、野良犬について
11	5番議員 南立石小学校 齋 藤 涉 武	家庭で海岸清掃のボランティアに参加した経験から、今のボランティア活動の現状について
12	12番議員 緑丘小学校 松 岡 儀 樹	ごみの分別について

13	14番議員 東山小学校 山口大輝	奥別府の開発について
14	2番議員 南小学校 吉野 吏	人と人がつながるまちづくりについて
15	6番議員 鶴見小学校 衣川美紗子	別府の自然を増やす取組みについて

○提言者一覧表

提言 順位	提言議員	提言内容
1	18番議員 朝日中学校 江原優斗	観光産業とバリアフリーの関係性について
2	19番議員 鶴見台中学校 清末太一	学校教育における英語学習の充実について
3	17番議員 中部中学校 工藤帆夏	一人の人をつくらない学校の取組みについて
4	16番議員 青山中学校 高瀬 さくら	介護現場で働く人が働きやすい環境にするために

第11回「べっぷ子ども市議会」会議録（第1号）

平成25年7月26日

○出席議員（23名）

1番議員	境川小学校	武内	あや菜	さん
2番議員	南小学校	吉野	吏	君
3番議員	西小学校	大林	優	さん
4番議員	青山小学校	戸高	千怜	さん
5番議員	南立石小学校	齋藤	渉	武君
6番議員	鶴見小学校	衣川	美紗子	さん
7番議員	亀川小学校	吉本	伊央利	君
8番議員	上人小学校	工藤	祥啓	君
9番議員	朝日小学校	秦	優希菜	さん
10番議員	石垣小学校	縄田	要	君
11番議員	春木川小学校	羽田	鉄馬	君
12番議員	緑丘小学校	松岡	儀樹	君
13番議員	大平山小学校	宮部	葵	さん
14番議員	東山小学校	山口	大輝	君
15番議員	別府中央小学校	大野	由惟	さん
16番議員	青山中学校	高瀬	さくら	さん
17番議員	中部中学校	工藤	帆夏	さん
18番議員	朝日中学校	江原	優斗	君
19番議員	鶴見台中学校	清末	太一	君
20番議員	東山中学校	上園田	明真海	さん
21番議員	浜脇中学校	田川	美綺	さん
22番議員	北部中学校	永田	敦寧	さん
23番議員	山の手中学校	時枝	真暉	君

○欠席議員（なし）

○説明のための出席者

市長	浜田博君	副市長	友永哲男君
副市長	阿南俊晴君	教育長	寺岡悌二君
水道企業管理者	永井正之君	総務部長	釜堀秀樹君
企画部長	大野光章君	ONSENツアーズ部長	亀井京子君
建設部長	糸永好弘君	生活環境部長	浜口善友君
福祉保健部長	伊藤慶典君	消防長	渡邊正信君
教育次長	豊永健司君	学校教育課長	古田和喜君

○主催者等出席者

別府市議会議長	吉富英三郎君
別府市議会子ども会を支える議員連盟会長	首藤正君
別府市子ども会育成会連合会会長	池辺栄治君
別府市PTA連合会副会長	大久保毅君
別府市議会子ども会を支える議員連盟副会長	永井正君
別府市議会子ども会を支える議員連盟事務局長	猿渡久子君
別府市議会子ども会を支える議員連盟事務局理事	市原隆生君

○議会事務局出席者

局	長	檜垣伸晶	参	事	宮森久住
次	長	浜崎憲幸	次	長	河野伸久
主	幹	吉田悠子	主	査	溝部進一
主	任	波多野博	主	任	甲斐健太郎
主	任	池上明子	主	事	穴井寛子

○議事日程（第1号）

平成25年7月26日（金曜日） 午後1時40分開議

第1 議席の指定

第2 会議録署名議員の指名

第3 会期の決定

第4 一般質問

第5 提言

第6 子ども議員提出議案第1号・第2号「子ども宣言について」

○本日の会議に付した事件

日程第1～日程第6（議事日程に同じ）

○市議会事務局長（檜垣伸晶君） 皆さん、こんにちは。

開会式に先立ちまして、子ども議員皆さんの記録用写真を撮影しますので、子ども議員の皆さん方は、議長席の方を見てください。

傍聴席の皆さま並びに主催者の皆さま方は、恐れ入りますが、しばらくお待ちくださいますようお願いいたします。

[写 真 撮 影]

ご協力ありがとうございました。

それでは、ただ今から、第11回「べっぷ子ども市議会」開会式をとり行います。

はじめに、主催者並びに関係者の皆さまをご紹介します。

浜田 博 別府市長です。

友永哲男 副市長です。

阿南俊晴 副市長です。

寺岡悌二 教育長です。

永井正之 水道企業管理者です。

吉富英三郎 別府市議会議長です。

首藤 正 別府市議会子ども会を支える議員連盟会長です。

池辺栄治 別府市子ども会育成会連合会会長です。

大久保毅 別府市PTA連合会副会長です。

荒金卓雄 別府市議会副議長です。

別府市議会子ども会を支える議員連盟副会長の永井 正議員です。

同じく事務局長の猿渡久子議員です。

同じく理事の市原隆生議員です。

以上の方々を代表し、吉富英三郎 別府市議会議長より、皆さんにごあいさついたします。

○市議会議長（吉富英三郎君） 皆さん、こんにちは。

いよいよ「べっぷ子ども市議会」が始まります。

きょうまで、皆さんは別府市の子どもたちの代表として、多くの子どもたちの意見に耳を傾けたり、自分の目で見たりして感じたこと、そして、これはど

うということかなあと不思議に思ったことなどがあると思います。そういうものをしっかり勉強して、きょう、この場で、皆さん方は、自分の意見として、はっきりと、大きな声で、意見・提言をしていただきたいと思います。皆さんの意見・提言をしっかりと受けとめて答弁をするために、きょうは、浜田市長を初め、副市長、教育長、水道企業管理者、そして各担当部長さんが席に着いております。皆さん方から出てくる意見に対して一生懸命執行部としての答弁をすると思いますので、わたしたち大人も、皆さん方の意見とそれに対する答弁を大変楽しみにしておりますし、勉強もさせてもらいたいと思っております。

皆さん方が、きょうのこの日をすばらしい経験として、5年先、10年先、20年先、しっかりとした大人になったときに、それぞれの立場で、この別府市のリーダーとして育ってくれることを心から期待しています。

きょうのこの日を境に、さらに、勉強に、友達づくりに頑張っていたきたいと思えます。

終わりにになりましたが、本日の子ども市議会の開催にあたり、ご尽力いただきました、各小中学校の先生方、PTA、市子連の皆様方、そして、教育委員会、議会事務局の職員に、心から感謝とお礼を申し上げ、私のあいさつといたします。

今からの時間を皆さんの力で有意義なものにしてください。

○市議会事務局長（檜垣伸晶君） ありがとうございます。

以上をもちまして、開会式を終了いたします。

続きまして、子ども市議会の議長及び副議長の選出については、あらかじめ決定されておりますので、ご紹介させていただきます。

議長は、山の手中学校の時枝真暉君です。

時枝君は、議長席までお越しくください。

続きまして、副議長は北部中学校の永田敦寧さんです。

永田さんは副議長席までお越しくください。

それでは、議長と副議長が席に着かれましたので、時枝議長よろしく願いいたします。

午後1時40分 開会

○議長（時枝真暉君） 皆さん、こんにちは。

先ほどご紹介をいただきました、議長の山の手中学校 時枝真暉と、副議長の北部中学校 永田 敦寧さんです。

わたしたちのまち別府が、希望に満ちた、住みよいまちになるように、きょうの子ども市議会をがんばりたいと思いますので、子ども議員皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

また、本日は、市長さん、市議会議長さんをはじめ多くの関係者の皆様にご出席をいただき、ありがとうございました。

それでは、ただいまより、子ども市議会を開会いたしたいと思いますので、出席議員数の報告をお願いします。

○市議会事務局（穴井寛子君） 人員のご報告を申し上げます。議員定数23名、現在員23名であります。

○議長（時枝真暉君） 第11回「べっぷ子ども市議会」は成立いたしました。

これより会議を開きます。

本日の議事は、「議事日程第1号」により行います。

日程第1により、議席の指定を行います。

議席は、議長において指定いたします。

議席番号と氏名を職員の方に読み上げていただきます。

○市議会事務局（穴井寛子君） それでは、議席番号と氏名を読み上げますので、呼ばれた方は「はい」と返事をし、その場でご起立を願います。

1番議員 境川小学校 武内 あや菜 さん

2番議員 南小学校 吉野 吏 君

3番議員 西小学校 大林 優 さん

4番議員 青山小学校 戸高 千怜 さん

5番議員 南立石小学校 齋藤 渉 武 君

6番議員 鶴見小学校 衣川 美紗子 さん

7番議員	亀川小学校	吉本伊央利君
8番議員	上人小学校	工藤祥啓君
9番議員	朝日小学校	秦 優希菜さん
10番議員	石垣小学校	縄田要偲君
11番議員	春木川小学校	羽田鉄馬君
12番議員	緑丘小学校	松岡儀樹君
13番議員	大平山小学校	宮部 葵さん
14番議員	東山小学校	山口大輝君
15番議員	別府中央小学校	大野由惟さん
16番議員	青山中学校	高瀬さくらさん
17番議員	中部中学校	工藤帆夏さん
18番議員	朝日中学校	江原優斗君
19番議員	鶴見台中学校	清末太一君
20番議員	東山中学校	上園田明真海さん
21番議員	浜脇中学校	田川美綺さん
22番議員	北部中学校	永田敦寧さん
23番議員	山の手中学校	時枝真暉君

○議長（時枝真暉君） ただいま、読み上げていただいたとおり、議席を指定いたします。

次に、日程第2により、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、

9番 秦 優希菜さん

10番 縄田要偲君

以上、2名の方々をお願いをいたします。

次に、日程第3により、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

子ども市議会の会期は、本日1日といたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（時枝真暉君） ご異議なしと認めます。

よって、子ども市議会の会期は、本日1日と決定いたしました。

次に、日程第4により、一般質問を行います。一般質問者は、15名です。質問順位により、一般質問を行います。

最初に、3番議員、西小学校の大林優さんの一般質問をお願いいたします。

[3番議員 大林優さん、登壇]

○3番議員（大林優さん） 私の通っている西小学校は、3年後、青山小学校と統合する予定になっています。それによると、西小学校校区の児童や園児は、今の青山小学校の場所まで登下校するようになります。そこで気になったのが通学路の安全面です。今までは、比較的交通量が少なく近い距離を地域の人や交通指導員の方に見守られながら安心して登下校していました。しかし統合すると、せまい歩道と車の通りの多い流川通りを横切ることになるので、幼稚園児、低学年の子ども達が安全に登下校できるかとても心配です。

そこで質問です。統合し学校が移った際、安全に登下校ができるための計画や対策はありますか。私が考えたことは、「しっかりとした歩道を造ること」、「ガードレールを設置すること」、「流川通りの歩道を広くすること」、「信号機の時間を長くすること」、「登下校の時に交通指導員の方に立ってもらうこと」などです。よろしくをお願いします。

○議長（時枝真暉君） 教育長

○教育長（寺岡悌二君） お答えいたします。

大林議員が心配されているお気持ちと同様に、私どもも市内すべての幼稚園、小・中学校、高等学校のみなさんの「安全・安心な登下校が最優先である」と考えており、交通事故にあわない、起こさないことを毎日、心より祈っております。

そこで、西小・青山小統合に向けた安全通学対策についてのお尋ねですが、まず、通学路の環境整備からご説明をいたします。

統合小学校では新たな通学路を指定することになりますが、学校・地域の要望も伺いながら、その新通学路を点検のうえ、危険箇所の整備や、路側帯・文ろそくたいマーク・止まれシート・標識ひょうしき等の設置が必要かどうかを話し合い、教育委員会

が整備に取り組んだり、関係する管理者・組織に強くお願いしたりして充実を図りたいと考えています。

次に、交通安全指導の取り組みとしては、交通量の多い流川通りを中心に、交通指導員、PTA・自治会の皆様方にもより安全な登下校の見守り活動をお願いし、ご協力をいただきたいと考えております。

また、例年4月に実施しています、幼稚園児と小学校新入児童を対象にした「交通安全教室『とんとん止まれ』」を継続し、充実を図ってまいります。

さて、大林議員は「ゾーン30」という言葉をお聞きになったことがありますか。警察が現在の青山小学校周辺区域一帯を「走行車両の最高速度を一律30キロに規制する」とした区域です。もちろん、歩行者の安全確保が目的ですので、ドライバーが細心の注意を払うこととなりますが、肝心なのは登下校する皆さん自身が安全な歩行・横断に十分気をつけることだと思います。正しい交通ルールとマナーを学び、自分の身を守っていただきたいと願っています。

○議長（時枝真暉君） 市長。

○市長（浜田 博君） 大林優議員のご質問にお答えいたします。

ただいま教育長が答弁しましたように、新しく統合する小学校の皆さんが交通事故にあわないよう、点検を行い、道路の整備や路側帯^{ろそくたい}等の設置など必要なものが素早く実現できるよう、道路を管理している担当や別府警察署等にこれからもお願いをしていきます。

また同時に、皆さんには、先ほど教育長が言われた「自分の命は自分で守る」ことができるように、しっかりと安全学習を重ねていただきたいと願っています。

最後に、大林議員が親しんできた母校を想い、後輩・仲間を想うやさしい気持ちが伝わってきまして、とても感心いたしました。貴い命を互いに守り合いましょう。

貴重なご質問、ありがとうございました。

○議長（時枝真暉君） 大林さん。

○3番議員（大林優さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（時枝真暉君） 次に、10番議員、石垣小学校の縄田要徳君の一般質問をお願いいたします。

[10番議員 縄田要徳君、登壇]

○10番議員（縄田要徳君） ぼくは、時々別府市立図書館に行きますが、不便だと思
うことがあります。それは、駐車場が少ないことです。車を停めることができ
ず、駐車場が空くまでぐるぐる周りをまわった経験もあります。それでバスで
も行ってみましたが往復200円もかかり、おこづかいで行くには高いなと思いま
した。

そこで、ぼくは子どもや高齢者に図書館に行くバスの無料券を配布してはど
うかと考えました。なぜ子どもに無料券を配布するかというと、図書館に行き
やすくなるし、図書館を使うことで知識が増えるからです。また、高齢者の方
も無料券があれば、気軽に図書館に行くことができ、本を読むことで自由な時
間を充実させることができると思ったからです。

ぼくが以前行ったことのある熊本県合志市の図書館では、図書館まつりで子
どものための無料バスが出ていました。

そこで質問です。別府市ではこのように図書館から遠い人も使いやすい取り
組みや計画はありますか。教えてください。お願いします。

○議長（時枝真暉君） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えいたします。

市立図書館は、現在千代町というところにあります。市の南側にありますの
で、歩いて来られない地域の方のほうが多いと思います。

そこで図書館では、市内を11のコースに分けて、30カ所のステーションを
巡回する移動図書館じゅんかいを実施し、本の貸し出しを行っています。去年からは、皆
さんが放課後でも本を借りやすくなるよう、移動図書館車の開館時間を変更し
ました。それから、児童館でも本の貸し出しを行っています。

また、皆さんの学校にも学校図書館がありますが、図書館司書の先生を配置
したり、本を買うお金を増やしたりして、学校図書館の充実にも取り組んでい
ます。学校の図書館もぜひ利用してもらいたいと思います。

子どものころから本を読む楽しさを知り、読書に親しむということは、とて
も大切なことだと考えていますので、縄田議員が図書館を利用していることを
聞いて大変うれしく思っています。

これからも、皆さんが利用しやすい図書館の環境づくりを進めていきたいと
思っています。

○議長（時枝真暉君） 市長。

○市長（浜田 博君） 縄田要偲議員のご質問にお答えいたします。

市立図書館について、「高齢者や児童が、もっと利用しやすい環境づくりを」という、思いやりあふれるご意見をいただきありがとうございます。

縄田議員が言うとおおり、図書館の駐車場が少ないため、利用者の皆さんにご迷惑をかけていることに対し、大変申し訳なく思っています。現在、駐車場の確保ができるよう、図書館の周りの情報を集めているところですので、いましばらくお待ちいただきたいと思います。

市立図書館では、みなさんに充実した時間を過ごしていただけるよう、そして図書館を楽しく利用していただけるように、「子どもの読書週間」の際などの「特設展示コーナー」の充実、「図書館クイズ」や「スタンプラリー」の開催など、様々な工夫を凝らした図書館づくりに取り組んでいます。

また、夏休み期間中も、「夏の図書館祭り」を開催します。「図書館探検隊」や「世界のお話とマジックショー」などの行事を計画していますので、縄田議員も友達や家族と一緒にぜひ参加してみてください。

縄田議員には、これからも、図書館を楽しく、そして知識が増えるように活用していただくとともに、子どもから高齢者といった、色々な立場にたった考え方を大切にいただきたいと思います。

ご質問ありがとうございました。

○議長（時枝真暉君） 縄田君。

○10番議員（縄田要偲君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（時枝真暉君） 次に、13番議員、大平山小学校の宮部葵さんの一般質問をお願いいたします。

[13番議員 宮部葵さん、登壇]

○13番議員（宮部葵さん） 私達の学校では、8時半になると全校が静かに、本を読み始めます。朝読書は、私の好きな時間の一つです。

大平山小の図書館の蔵書数は9,132冊で、去年は、1年間で新しい本が501冊買えたそうです。ところが、本は確かに増えていますが、1年生から6年生まで年齢の差もあり、読みたい本の種類やレベルも様々です。まだまだ本を増やしてほしいと思っています。また、蔵書数などを教えて下さったのは司書さん

ですが、他の学校との兼任で、毎日いらっしゃるわけではありません。

そこで質問です。本の購入予算増額の予定はありますか。また司書さんを1校に1人とする見通しはありますか。他にも地域ごとに図書館をつくったり、公民館に図書館を充実させたりするなどの計画はありますか。休日でも友達と足を運べる図書館が近くにあればすてきだと思います。教えてください。

○議長（時枝真暉君） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えいたします。

大平山小学校は、「あいさつ、読書、学び合い」をテーマに、読書にとっても一生懸命に取り組んでいる学校ですね。全校の子どもたちが、しっとりと静かな雰囲気朝読書ができることは、とても素晴らしいことだと思います。

そんな本好きの子どもたちのために、本をなるべくたくさん買ってあげたいと思っています。古くなった校舎や体育館を建て直したり、耐震工事をしたりすることにもお金がかかりますが、できるだけ本を買うことができるように努力したいと思っています。

次に、図書館の司書の先生についてですが、いま、別府市内の学校では、1人の司書が2校を担当しております。そのため、司書の先生がいる日といない日では、図書館の本を借りる人に大きな差があるとも聞いています。みんなの大好きな司書の先生を少しでも増やせるよう努力したいと思っています。

また、地域の図書館を作ることや公民館の本を充実することは、よい考えです。ぜひ検討してみたいと思います。

宮部議員さん、これからもいっぱい本を読んで、豊かな心とたくさん知識のある大人になってください。貴重なご意見ありがとうございました。

○議長（時枝真暉君） 市長。

○市長（浜田 博君） 宮部葵議員のご質問にお答えいたします。

別府市は、国際観光温泉文化都市をめざしています。本好きの子どもたちがたくさん育つことは、別府市の文化を創る上でとても大切なことと考えております。

別府市の各学校の図書館は、たくさん^{ぞうしょ}の蔵書があります。また毎年たくさん本を購入しております。しかし、宮部議員さんのご指摘のとおり、1年生から6年生までの年齢差を考えると十分とは言えません。

ただ、別府市立図書館や大分県立図書館には、たくさん^{ぞうしょ}の子ども用の蔵書が

あり、学校に団体貸出もしています。もし、学校に読みたい本がなかったら司書の先生に相談してみてください。

そのためにも司書の先生たちを段階的にでも全校配置を目指していきたいと考えています。

私が子どものころは本が少なく、何度も何度も同じ本を読んだ経験があります。それでも楽しかったです。今の時代はたくさん本があります。読書は想像力を^{つちか}培い、人生を豊かにします。

これからも、たくさん、たくさん、本を読んでもください。

貴重なご意見をありがとうございました。

○議長（時枝真暉君） 宮部さん。

○13番議員（宮部葵さん） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（時枝真暉君） 次に、11番議員、春木川小学校の羽田鉄馬君の一般質問をお願いいたします。

[11番議員 羽田鉄馬君、登壇]

○11番議員（羽田鉄馬君） 別府には温泉や地獄などがあり、毎年たくさんの観光客のみなさんが来てくれます。別府の町は、観光都市として成り立っていると思います。観光都市別府に来た人に気持ち良くすごしてほしいと思います。

ぼくの家そばには、観光客に人気の食べ物屋さんなどがあります。ところが、そのお店まで歩いて行っている人が、「ごみがいっぱい並んで置いてあってくさいなあ。」と言っているのを聞きました。先日、福岡から親せきが来た時にも、「別府は観光地なのにどうしてごみ収集を昼間にするんだろう。」と言っていました。福岡は、においやカラスなどの動物の被害を防ぐために夜に収集をしているそうです。

きれいな別府で観光客のみなさんをおむかえするために、福岡市のような対さくが必要だと思います。

そこで質問です。別府市では、観光客のみなさんが気持ちよくすごせるきれいな町にするためにどのような取り組みをしていますか。教えてください。お願いします。

○議長（時枝真暉君） 生活環境部長。

○生活環境部長（浜口善友君） お答えいたします。

別府市では観光客の皆さま方に気持ち良くすごしていただくために、毎年5月と11月に別府市の繁華街はんかがいのごみ拾いをする「ポイ捨て禁止キャンペーン」と毎年6月の市内全域の公園・道路・側溝そっこうなどの清掃と草刈りを行う「全市一斉清掃いっせい」そして、毎年7月には市内の海岸清掃を行う「別府市海岸海浜清掃奉仕活動かいひん ほうし」等行っております。

また、福岡市では交通量の少ない夜間の時間帯でのごみ収集が定着しておりますが、別府市に当てはめた場合、夜間ごみ収集時の騒音の心配や、ごみ袋の中身の確認が困難なことから分別収集の徹底等も心配されます。

現在、別府市では、にのいの原因となる生ごみの水切り、ごみの出し方のマナー、分別の徹底等を市民の皆様をお願いし、観光客の皆様と市民の皆様にとって気持ちよく過ごせるきれいな街を目指しているところです。

○議長（時枝真暉君） 市長。

○市長（浜田 博君） 羽田鉄馬議員のご質問にお答えいたします。

別府市では「美しい街をつくりましょう」「お客様を温かく迎えましょう」の市民憲章けんしょうの下、さきほど部長が答弁いたしましたとおりの多くのボランティア清掃活動の他各自治会独自での多くの清掃活動が実施されております。

一人でも多くの観光客の皆さまに訪れていただき、気持ち良く過ごしていただくために、国際観光温泉文化都市の別府市は、今後とも市民の皆さま方と共に環境美化活動に努めて、全国ほこに誇れる「美しい街別府」をめざしてまいります。

別府市を訪れていただく観光客の皆さま方に気持ち良く観光していただき「また別府市に行きたい。」と思っただくために我がふるさと別府をきれいにしたいという気持ちは私たちみんな一緒だと思っております。羽田議員におかれましても春木川小学校の皆さんと一緒に協力していただければと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（時枝真暉君） 羽田君。

○11番議員（羽田鉄馬君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（時枝真暉君） 次に、4番議員、青山小学校の戸高千怜さんの一般質問をお願いいたします。

[4番議員 戸高千怜さん、登壇]

○4番議員（戸高千怜さん） 私は、別府市の高齢者のことを考えた歩道橋整備と信号のことについて質問します。別府市や青山小学校地域にはたくさんのお年よりの方がいます。歩道橋はお年よりの方々が階段をのぼるのがつらそうです。腰にも負担がかかっているのかもしれませんが。私たち小学生にとっては大へんさを感じない階段も、お年よりの方々にとっては、少しつらいと思います。

もう一つは信号についてです。私もよく利用するのですが、ビーコンプラザや別府公園近くの歩行者信号がすぐに変わり、お年よりの方々も急いで渡っています。また、ビーコンプラザ近くのソフトバンクのところでは信号がないので遠回りをしないとけません。

そこで質問です。歩道橋の階段をスロープにするという計画はありますか。また、歩行者信号の渡る時間を長くしたり、新しく信号を設置したりする計画はありますか。この2つの点について、別府市ではどのように高齢者のための町作りを進めているのか教えてください。お願いします。

○議長（時枝真暉君） 建設部長。

○建設部長（糸永好弘君） お答えいたします。

戸高議員ご質問の歩道橋について、最初にご説明いたします。

市内には歩道橋がいくつかありますが、別府公園の南側にもありました。

この歩道橋の名称は、「青山歩道橋」と言います。

「青山歩道橋」については、建設後40年以上経っており、これまで定期的に修繕を行ってまいりましたが、表面^{とそう}塗装のはがれや鉄骨のさびなどが激しく、また高齢者の方々の利用に配慮し、階段部分のバリアフリー化も考えましたが、強度などの問題があり難しいことがわかりました。

さらに、「青山歩道橋」について、昨年青山小学校区の皆様から取り除いて横断歩道にしてほしいとの要望があり、早速別府警察署にお願いし今年3月に新たに横断歩道と信号機を設置していただき、信号機の設置にあわせて6月中旬に撤去いたしました。

次に歩行者の渡る信号機の時間延長や信号機の新たな設置要望などは、今後別府警察署と相談し、高齢者や市民の皆様が安心して歩けるように努力していきたいと思います。

○議長（時枝真暉君） 市長。

○市長（浜田 博君） 戸高千怜議員のご質問にお答えいたします。

戸高議員さんのご質問は、青山の歩道橋が高齢者の方々にとって、階段の上り下りがつらいので、スロープにすれば楽に渡れるのではないですか、というとても優しい気持ちを持たれた質問だと思います。

この優しい気持ちをいつまでも大切にしてください。

青山歩道橋については部長が答弁をしたとおりですが、その他に高齢者や子どもたちのために、青山小学校区周辺は別府市で最初に自動車の速度を30kmに規制する「ゾーン30」の指定を受けており、これから道路に注意をお知らせする路面標示^{ひょうじ}や標識^{ひょうしき}設置などの整備をする予定です。

このことにより、高齢者や子どもたちが安全に通行したり登校できると思います。

最後に高齢者のためのまちづくりを、どの様に進めて行くのかとの質問であります。別府市は高齢者や障害のある人も支障がないように道路の整備につとめ、みなさんが安心して安全に暮らせるようなまちを作っていきます。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（時枝真暉君） 戸高さん。

○4番議員（戸高千怜さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（時枝真暉君） 次に、8番議員、上人小学校の工藤祥啓君の一般質問をお願いいたします。

[8番議員 工藤祥啓君、登壇]

○8番議員（工藤祥啓君） 別府市は全国的にも温泉が有名な観光都市です。国内だけでなく、外国からもたくさんの観光客が訪れます。活気にあふれ、国際色豊かな、とても魅力的な町だと思います。

しかし、別府市に住む人や別府市を訪れる人の中には、残念ながらマナーの悪い人もいて、ゴミをポイ捨てする人がいます。ぼくも、町中でゴミが落ちているのを見かけることがあります。人が集まると良い点がありますが、一方で問題も出てきてしまいます。

でも、そのような状態だと、せっかく遠くから別府に来てくれた観光客が気持ち良く滞在できなかつたり、別府市に悪い印象をもったまま帰ってしまった

りするかもしれません。また、住民にも迷惑がかかります。

そこで質問です。別府市では、ゴミのない美しい町を維持するために、例えば地元の人たちがボランティアなどで清掃活動等を行うなど、何か取り組みや対策をしているのでしょうか。教えてください。お願いします。

○議長（時枝真暉君） 生活環境部長。

○生活環境部長（浜口善友君） お答えいたします。

別府市では、まちの美化を目指し、清掃活動に取り組んでおります。毎年5月には「ポイ捨て禁止キャンペーン」、6月に「全市一斉清掃^{いっせい}」を、7月には「別府市海岸海浜清掃奉仕活動^{かいひん ほうし}」を市民の皆さんのボランティアで実施しています。

5月のポイ捨て禁止キャンペーンには約280名が、6月の「全市一斉清掃^{いっせい}」には約11,800名が、7月の「別府市海岸海浜清掃奉仕活動^{かいひん ほうし}」には約2,300名の市民の方が参加して頂きました。

また、自治会や市民団体の皆さんもボランティア活動として地域の清掃に取り組み、ご協力をいただいています。工藤議員のご質問にもあるように、ポイ捨てなどによるゴミの増加は、観光客や街に悪い影響を与え、ゴミが減ることは、観光客に良い印象を与えるだけでなく、犯罪を減らす効果にもつながります。

清掃のボランティア活動の輪が市民の皆さんに広がり、一人でも多くの方が参加していただき、きれいで住みよいまちになることは、大変素晴らしいことだと思います。

○議長（時枝真暉君） 市長。

○市長（浜田 博君） 工藤祥啓議員のご質問にお答えいたします。

ご指摘にもあるように、ゴミで町が汚れていれば、観光客から悪い印象を持たれ気持ちよく滞在できないでしょう。せっかくの観光地であっても魅力が半減してしまいます。

また、住んでいる人にとっても、きれいなまちというものは気持ちの良いものです。そのためには、市はもとより市民や事業所の皆さんの協力が必要になります。

別府市の市民憲章^{けんしょう}である「美しい町をつくりましょう」を合言葉に、全市を挙げて取り組んでいきたいと思えます。

今後とも、工藤議員におかれましては、地域でボランティア活動がありまし

たら積極的に参加していただくとともに、別府市を想う気持ちを大切にしてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（時枝真暉君） 工藤君。

○8番議員（工藤祥啓君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（時枝真暉君） 次に、9番議員、朝日小学校の秦優希菜さんの一般質問をお願いいたします。

[9番議員 秦優希菜さん、登壇]

○9番議員（秦優希菜さん） 化石燃料等の資源が限られている日本において、現在、原発をはじめ電気エネルギーは重要な問題になっています。

日本は資源の少ない国ですが、地熱は世界でも恵まれた国の一つであり、温泉大国であるここ別府は、特に地熱に恵まれています。この地熱を利用した地熱発電は、地球温暖化の原因と言われる二酸化炭素をほとんど排出しません。

また、化石燃料のように資源がなくなることがないほか、国産のため外国からの輸入に頼ることもありません。この地熱を利用して地熱発電所を建設することができれば、地球にやさしく電気エネルギーを得ることができます。

そしてまちづくり・福祉・教育をはじめ、現在注目されている別府市の観光客誘致など、「温けむり発電」以上に貢献できるものと思われまます。

そこで質問です。

別府市では、地熱発電建設の計画はありますか。教えてください。お願いします。

○議長（時枝真暉君） 生活環境部長。

○生活環境部長（浜口善友君） お答えします。

地熱発電建設の計画があるかどうかについてのご質問ですが、現時点では別府市内で地熱発電建設計画はありません。

その理由としましては、別府市街地の背後は、阿蘇くじゅう国立公園の特別地域として自然が守られており、大きな工作物等の建設に対して国の強い規制がかかっているためです。

また、別府の温泉は由布・鶴見火山群を中心とする周辺地域で、雨、雪、空からの水が地下に浸透^{しんとう}することによって、長い年月をかけて温泉水が生まれて

いるという専門家の方の話もあります。

このことから、市街地だけでなくその周辺地域でも地熱発電所を建設し、地下まで掘ることによって温泉の湯量が減る又は枯れることにつながる可能性も否定できません。

温泉が命である別府にとっては、この大規模な地熱発電の開発は大きな問題を伴うものと考えています。

このようなことから、別府の地域に合った地球環境に優しい自然エネルギーの有効活用を探るため、今年度からエネルギー調査を開始することとしています。そして、その調査結果から、別府の環境や温泉に悪影響を与えない形で自然エネルギーの利用、活用に力を入れていきたいと考えています。

○議長（時枝真暉君） 市長。

○市長（浜田 博君） 秦優希菜議員のご質問にお答えします。

一昨年の東京電力福島第1原発の事故以降、地熱発電をはじめとした再生可能エネルギーは全国各地で注目を集めています。

秦議員の言われるとおり、火山の多い日本の地熱資源量は米国、インドネシアに次いで、多いと言われています。その日本の中でも、大分県は地熱発電と地熱利用が全国で最大とのこと。とりわけ別府は、地熱発電発祥の地で、しかも、別府の温泉は、皆さんもご存じのとおり源泉数、湧出量ともに日本一で温泉の種類は10種類あり、これは世界一とされています。

現在別府では、安倍内閣総理大臣も視察に来た湯けむり発電が、本年中に実用化できそうな段階にまで来ました。この湯けむり発電が実用化されると、エネルギーをつくりながら、発電に使った温泉は再利用できるなど、温泉資源にもやさしい新型の地熱発電となります。

今後も、秦議員におかれましては、別府というふるさとを思う気持ちを大切に持ち続けていただき、今後とも別府のために力を貸していただけるようお願い申し上げます。

このたびは、地熱発電についての貴重なご質問をいただき、ありがとうございました。

○議長（時枝真暉君） 秦さん。

○9番議員（秦優希菜さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（時枝真暉君） 休憩いたします。

午後 2時27分 休憩

午後 2時40分 再開

○副議長（永田敦寧さん） 再開いたします。

休憩前に引き続き、一般質問を行います。

7番議員、亀川小学校の吉本伊央利君の一般質問をお願いいたします。

[7番議員 吉本伊央利君、登壇]

○7番議員（吉本伊央利君） ぼくは、最近のニュースで話題になっている東南海地震について不安に思っています。なぜならば、別府市は、その地震によって、大きな被害を受ける場所の一つだと言われているからです。

先日、亀川小学校でも津波の避難訓練をしましたが、避難場所の内かまど神社まで早足で12分くらいかかり、その内の10分位は、低い場所を逃げました。幼稚園の子もいて心配になりました。

また、ぼくの住んでいる、スパランドの避難場所は、公民館です。この前公民館まで歩いて行ってみました。すると、途中には、すごく長い急な階段がいくつもあり、そこをさけて通ると、とても遠回りになることがわかりました。時間がとてもかかるので、老人や小さな子には、大変です。

そこで質問です。どの地区にもみんなが安全に避難できる場所を作っていく計画はありますか。また、わかりやすい避難経路の看板を作るなどの取り組みは、ありますか。教えてください。お願いします。

○副議長（永田敦寧さん） 企画部長。

○企画部長（大野光章君） お答えいたします。

別府市では、避難場所として小中学校の体育館や公民館など121カ所を指定しています。

昨年、災害の種類別に利用できる避難場所を表示した「別府市防災シティマップ」を各家庭に配布しました。また、ことしの4月には、津波に絞り込み、どの場所まで避難すれば良いのか表示した「津波ハザードマップ」も配布しました。これには、近くのマンションなど、高いビルを避難場所として利用できるよう持ち主の方などの了解をいただいた19カ所の津波避難ビルも表示しています。この津波避難ビルについては、^{かいぼつ} 海拔の低い土地に住んでいる高齢者や幼い子供たちが短時間で避難できるよう、今後も地域の方々と話し合いをして増やしていく予定です。

次に避難場所への経路についてですが、^{かいぼつ} 海岸沿いの海拔の低い地域の電柱な

ど約1,250本に^{かいぼつ}海拔と^{ひなん}避難方向を示す看板を付けています。吉本議員の住んでいる地域は、津波の影響が予想されない高さにありますので、こういった表示はないと思いますが、小学校の周りの電柱で確認してみてください。^{ひなん}避難経路を普段から確認しておくことは、一人一人が出来る非常に大切なことです。市も引き続き市民の方々の安全・安心に力を注いでいきたいと思っています。

○副議長（永田敦寧さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 吉本伊央利議員のご質問にお答えいたします。

これまでの取り組みや、津波^{ひなん}避難ビルを今後も増やすことは、今、部長が答弁したとおりです。その他にも、「防災士」という資格を市民の方々に取っていただき、地域での防災リーダーとして、頑張っているところではあります。

市民の方々、そして議員にお願いしたいのは、「正しく恐れることが重要」ということです。東南海地震など、南海トラフに関連する津波は地震の後に発生しますから、まず、地震に備える、地震から身を守るということが一番大切なことです。その後、津波が別府の海岸に到達するまでに1時間半くらいかかると予測されています。地震が収まったら、周囲の様子を確認して^{ひなん}避難してください。

市として今後も防災対策に取り組めますが、完全ということはありません。皆が学校や地域で行われる防災訓練に参加したり、家族で普段から^{ひなん}避難する場合のことを話し合うなど、こういった積み重ねが大切なことだと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（永田敦寧さん） 吉本君。

○7番議員（吉本伊央利君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（永田敦寧さん） 次に、15番議員、別府中央小学校の大野由惟さんの一般質問をお願いいたします。

[15番議員 大野由惟さん、登壇]

○15番議員（大野由惟さん） 別府市は日本一の温泉湧^{ゆう}出量^{しゅつ}を誇ります。私たちの校区にも温泉がたくさん有り、友だちには、温泉に^つ浸かるとほわっとした気持ちになる人や、匂いがかいでも落ち着くという人など、温泉が大好きという人がたくさんいます。でも、約半数の友だちは、別府に住んでいるのになかなか温泉に行けずにいます。

そこで質問です。温泉が引ける学校に、足湯を作ることはできないでしょう

か。昔からずかんそくねつ頭寒足熱と言うように私たちの健康に良いことはもちろん、足湯を囲んで学年を超えた会話もはずんでもっと仲良くなります。冬は外で遊んだ後、手足を温められます。また、土日などは地域の人でも利用し、地域の人と子どもとの足湯を通した「湯コミュニケーション」もできそうです。さらに、学校に足湯ができたと評判になると、ナニコレ珍百景などのテレビで紹介されて、知名度がアップし、もっと温泉都市、おんせん県らしさがアップして、お店もハッピー、みんなもハッピーになると思うのです。別府市の学校に足湯を作るなど学校で温泉を活用する計画がありましたら教えてください。お願いします。

○副議長（永田敦寧さん） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えします。

足湯を囲んで学校の友達と仲良く語り合う学校、地域の方とも親しくなれる学校。体だけでなく、心もあたたかくなる素敵なアイデアだと思います。温泉に恵まれた別府のよさを味わうことができ、学校に行くことがさらに楽しくなることでしょう。

昔の別府には、温泉を利用することのできる学校がありました。冬はあたたかい温泉を使って掃除をするなど、学校生活の中でも温泉の恵みを身近に感じられましたが、そうした温泉施設を使い続けるための管理が難しく、次第に利用されなくなりました。しかし、大野議員の素敵なアイデアを何か学校づくりに活かすことはできないか、考えてみたいと思います。

別府には、たくさんの温泉があります。その中には、気軽に温泉を楽しめる足湯もあります。このような温泉を利用したり、温泉のよさについて調べたりすることは、とてもよい学習だと思います。社会科や総合的な学習の時間に、地域の温泉について学習していくことを通しても、温泉のすばらしさを体験し、いろんな人に紹介してほしいと思います。

○副議長（永田敦寧さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 大野由惟議員のご質問にお答えします。

学校に足湯を作るということは本当に素晴らしい発想だと感動しました。

別府は、大野議員が言われた通り、日本一の湧出量ゆうしゅつを誇る国際観光温泉文化都市です。地域にもたくさんの温泉があり、多くの人に利用されています。

私も朝日小学校、朝日中学校のときには学校に温泉があり、寒い冬は、温泉のお湯でぞうきんを絞って楽しく掃除をしていました。

現在は、温泉施設のある学校はありませんが、温泉をより多くの方に利用してもらえるよう、年末年始や温泉祭り期間中に市営温泉を無料で開放しています。また、「地獄蒸し工房 鉄輪」には、車いすのまま利用できるバリアフリーの足湯もあります。これからも、さらに多くの方に温泉に親しんでもらえるよう取り組んでいきたいと思えます。

大野議員にも、家族や友達と地域の温泉に入ってコミュニケーションを深めたり、温泉のことを調べたりして、ぜひ、別府の温泉の素晴らしさを多くの方に^{せんでん}宣伝してほしいと思えます。

温泉を通して^{きずな}絆を深め、別府のよさを広めていきたいという気持ちを、これからも大切にしてください。

貴重な質問をありがとうございました。

○副議長（永田敦寧さん） 大野さん。

○15番議員（大野由惟さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（永田敦寧さん） 次に、1番議員、境川小学校の武内あや菜さんの一般質問をお願いいたします。

[1番議員 武内あや菜さん、登壇]

○1番議員（武内あや菜さん） 私の祖父の家の周りには、たくさんの野良ねこがいます。その中に、誰かに飼われていたのではないかと思われるねこがいました。そこで、祖母が保健所に電話をしました。すると、犬は保健所の職員が捕まえに行くが、ねこは自分で連れてきてほしいと言われたそうです。その後、祖父の家の周りでは、ねこが死んでいるのが見つかったそうです。

私は、これからこのようなねこがどんどん増え続けていくのではないかと、すごく悲しくなりました。さらに、保健所に連れていったとしても、引き取り手がないまま、期間が過ぎると殺されてしまうということを知りました。

そこで、質問です。このことについて、別府市が取り組んでいることがあれば、教えてください。私たちができることがあれば、取り組みたいです。

○議長（時枝真暉君） 生活環境部長。

○生活環境部長（浜口善友君） お答えいたします。

保健所に引き取られた猫は、大分県内で毎年約2,500頭になり、ほとんどが処分の対象となっています。

このような事態を受け、大分県が「ねこ対策協議会」をつくりました。獣医師、動物愛護推進員、別府市などの行政、ボランティアの人たちが集まり、いろんな意見を出し合っています。

その中で、地域に住んでいる飼い主のいない猫を、どのようにすれば地域に愛され寿命をまっとうできるかを話し合っています。ボランティアの方の話の中では、猫だけでなく犬や動物を簡単に捨てるということを聞きます。まずは、こういった現状を多くの人に知ってもらうことが大事だと思います。例えば、飼い主の募集や捨て猫の禁止ポスターを貼ったりすることで、少しでも捨て猫が減少し、処分が減少していくよう努力いたします。

○副議長（永田敦寧さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 武内あや菜議員の質問についてお答えします。

猫については、市の方に様々な相談が寄せられています。武内議員は、動物の愛護及び管理に関する法律の基本原則をご存知でしょうか。「動物が命あるものであることを考えると、だれも、動物を殺し、傷つけたり、苦しめることのないようにするだけでなく、人と動物がともに生きることを配慮しながら、その習性を考慮して適正に取り扱うようにしなければならない」とあります。市民の皆様がこのような気持ちを大切にできるような働きかけが必要と考えます。

別府市でも動物と仲良く生きることを大事にして、よりよい町づくりをしていきたいと考えております。また、武内議員におきましては、動物を大切にす

る心を忘れないようお願いいたします。

ご質問ありがとうございました。

○副議長（永田敦寧さん） 武内さん。

○1番議員（武内あや菜さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（永田敦寧さん） 次に、5番議員、南立石小学校の齋藤涉武君の一般質問をお願いいたします。

[5番議員 齋藤涉武君、登壇]

○5番議員（齋藤涉武君） ぼくは、これまでに家族で「海岸清掃」に参加したことがあります。このとき参加者は20人くらいいました。活動内容は、砂浜のごみ

拾いで、2時間くらいしました。とてもゴミが多くて、拾うのが大変でした。また、お年寄りの参加者が多かったのに対して子どもの参加者は少なかったです。

そこで質問です。別府市には、どのようなボランティア活動があるのでしょうか。また、参加者はこの海岸清掃のときのように多いのでしょうか。おしえてください。お願いします。

この他にも、いろんな場所でいろいろな人がボランティア活動をしていると思いますが、ぼくは自分にできることがあれば、これからも進んで参加していきたいと思います。

○副議長（永田敦寧さん） 福祉保健部長。

○福祉保健部長（伊藤慶典君） 齋藤議員の質問にお答えします。

別府市にはどのようなボランティア活動があるのでしょうかというご質問ですが、最もたくさんの方が参加するものとしては、6月の「町内一斉清掃」があります。それぞれの町内の道路や河川敷などの清掃を行います。今年は約11,800人の参加がありました。この外にも、年間を通して海岸線の清掃や、別府駅周辺の清掃活動などに、多くのボランティアの人たちが活動していただいています。

ボランティア活動とは、地域や公共の福祉のために自分の技術や労力を提供する事であり、利益を求めずに行うものです。ボランティアの種類はたくさんありますが、齋藤議員が通っている南立石小学校でも、昨年、太鼓の指導、朝の読み聞かせ、裁縫の実習支援などのために、地域の方がボランティアとして活動してくれています。

また、音楽や、手品、踊りなどの技術を活かして、老人ホームや障害者施設などを訪問して入所している方々を楽しませているボランティアの人たちもたくさんいます。

別府市の社会福祉協議会がボランティアの登録を受け付けていますが、今年3月末では個人で2,169の方が登録していただいています。

○副議長（永田敦寧さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 齋藤渉武議員の質問にお答えします。

家族で海岸清掃のボランティアに参加していただき、大変ありがとうございました。きれいになった海岸を見て、さわやかな気持ちになったのではないのでしょうか。

ボランティアでも、今、部長が答えましたように、いろんな種類がありますが、ボランティアの重要性を多くの方が認識するのは、災害ボランティアの活動ではないかと思います。一昨年の東日本大震災や、昨年の北部九州豪雨の後に、多くのボランティアの方が自分の仕事を休んでまで、がれきの片づけや、泥のかき出しなどの作業を、汗びっしょりになりながら行っている姿は、報道を通じて多くの方に感動を与えました。

齋藤議員は、まだ小学生ですので、このような体力のいる作業は、今は難しいと思いますが、困っている人たちのために、何か役に立ちたいという気持ちを持つことが、大切なことと思います。

ボランティアにとって重要なことは、自分にできることを無理しないで行うことだと思います。嫌々することや、自分の能力以上のことをすると、長続きがしませんから、無理をせず、相手への思いやりを持って継続することが大切だと思います。

齋藤議員も、ぜひ大人になっても、自分の持つ技術などを活用して、困っている人たちの助けとなるボランティア活動を続けていただきたいと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（永田敦寧さん） 齋藤君。

○5番議員（齋藤涉武君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（永田敦寧さん） 次に、12番議員、緑丘小学校の松岡儀樹君の一般質問をお願いいたします。

[12番議員 松岡儀樹君、登壇]

○12番議員（松岡儀樹君） ぼくの兄が、大学進学のために福岡でひとり暮らしをしていたときのことです。ペットボトルをキャップがついたまま、「空きビン・ペットボトル」のゴミ袋に入れてゴミ捨て場に出したそうです。すると違反のシールを貼られて、回収してもらえなかったそうです。ぼくはそれを聞いて、福岡はとても厳しいなと思いました。

それに比べ、ぼくたちの暮らす別府市は、ゴミの分別がすごく楽だと感じます。例えば、シャンプーの空き容器など、燃えないゴミになりそうなものも、「燃えるゴミ」として回収してくれます。でも、燃やす時に有害なガスなどが出ないかと気になりました。

そこで質問です。別府市では、ゴミの処理の時に、有害なガスや物質などがでないような工夫をしていますか。また、市民に気をつけてほしいことなどがありますか。教えてください。お願いします。

○副議長（永田敦寧さん） 生活環境部長。

○生活環境部長（浜口善友君） 「ごみの分別」と「市民の皆様に気を付けていただきたいこと」についてお答えいたします。

松岡議員が言われるように、市町村によって、「ごみの処理方法」や「リサイクルの方法」が異なるため、「ごみの分別」のしかたも異なることがあります。

別府市でも、リサイクルを推進するために「缶・びん・ペットボトル」や「古紙・古布」の収集を行っていますが、収集している時に、リサイクルできないものが混ざっていれば、分別違反のシールを貼り、収集せずに置いていくこととなります。

リサイクルを行うには、ごみを出す時の分別が欠かせませんので、今後も市民の皆様に対して、適切な分別についてお知らせし、ご協力をお願いしてまいりたいと考えております。

○副議長（永田敦寧さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 松岡儀樹議員の質問にお答えいたします。

別府市のごみは、藤ヶ谷清掃センターという施設で燃やしていますが、松岡議員の言われるように、ごみを燃やすときには、環境に有害な物質が発生します。これをそのまま外に出すと、大気汚染などの原因となってしまいますので、法律で環境に影響を出さないための基準が決められています。その基準を守るため、藤ヶ谷清掃センターには有害物質を取り除く施設が造られていますので、基準よりも少ない量しか外に出ていません。

また、今、新しい焼却施設を造っていますが、その施設には最新の技術が使われているため、外に出る有害物質の量をさらに少なくできる予定になっていますので、ご安心ください。

松岡議員におかれましては、これからも環境のことを想う気持ちを大切にしてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（永田敦寧さん） 松岡君。

○12番議員（松岡儀樹君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（永田敦寧さん） 次に、14番議員、東山小学校の山口大輝君の一般質問をお願いいたします。

[14番議員 山口大輝君、登壇]

○14番議員（山口大輝君） 僕の家は、別府りんご園のすぐ前にあります。

毎日バスで、リンゴ園、神楽女湖、志高湖を通過して、学校に通っています。

バスで通う道は、とても自然がいっぱいで、きれいです。

でも、少しさみしい気がしています。通りには、店もなく、自動車で観光に来るお客さんも時々見かけますが、とても少ないです。せっかく、豊かな自然がいっぱいあるところなので、もっとたくさんのお客さんに観光に訪れていただきたいです。

そこで、質問です。

東山地区のある奥別府は自然がいっぱいで、由布川峡谷^{きょうこく}や棚田など、他にも訪れて見ていただきたい観光名所がたくさんあります。

城島高原や鶴見岳を含めた別府湯布院線はお店も多くたくさん車が通りますが、別府狭間線や別府庄内線は、それに比べてとても少ない気がします。

そこで質問です。この2つの道を整備し、特産物を販売するなど、観光スポットとして活性化していく計画を考えていただけませんか。よろしく願いします。

○副議長（永田敦寧さん） ONSENツーリズム部長。

○ONSENツーリズム部長（亀井京子君） お答えいたします。別府狭間線や別府庄内線の周辺地域である東山地区の観光スポットは、志高湖、神楽女湖、由布川峡谷、内成棚田など別府の中でも特に自然環境に恵まれた美しい地区です。また、観光施設においては、志高湖キャンプ場、神楽女湖しょうぶ園、りんご園など季節を彩^{いろど}る様々な観光資源があります。

この恵まれた自然をもっとPRしていくために、まず別府湯布院線から枝郷方面に進んで行った最初の観光スポットである志高湖キャンプ場の利用者を増やしていこうと考えています。

例えば、今年度から志高湖の夏のお祭りをこれまで夜間だけの開催であったものを、日中からの開催に拡充したり、イベントのPRを図るためにフェイスブックを活用するなど、観光客の増加に向けた取り組みを進めており、さらに、地元農産品など特産物の販売についても、現在協議を開始しています。

また、10月には志高湖から神楽女湖、りんご園と奥別府を満喫できる別府湯けむり健康マラソン・ウォーク大会も開催され、近年参加者も増加傾向にあり、奥別府の観光PRに大きな役割を果たしています。

このような取り組みをこれからも継続・拡充し、由布川峡谷や内成棚田などの周辺観光地と連携することで地域の活性化に取り組んでいきます。

○副議長（永田敦寧さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 山口大輝議員のご質問にお答えいたします。

地元の美しい自然をもっと多くの観光客の方々に見ていただいて、地域が活性化してほしいという山口議員の気持ちを大変うれしく思います。

東山地区は素晴らしい自然環境とそれを活かした観光施設、イベントがたくさんあり、市民や観光客のいこいの場として多くの方が訪れています。しかしながら城島高原や鶴見岳を含めた別府湯布院線沿線を訪れる観光客に比べると、お客様の数はとても少ないというご指摘ですが、今、部長がお答えしたように各施設では様々な取り組みも行われています。このような取り組みをもっと広くPRしていくことが大切だと思います。

それと同時に、この自然をいつまでも守っていくことも重要なことです。そのためにも地域を大切に思う山口議員の気持ちをいつまでも忘れないでいただきたいと思います。

貴重なご質問、ありがとうございました。

○副議長（永田敦寧さん） 山口君。

○14番議員（山口大輝君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（永田敦寧さん） 次に、2番議員、南小学校の吉野吏君の一般質問をお願いいたします。

[2番議員 吉野吏君、登壇]

○2番議員（吉野吏君） ぼくたちは、南小学校をあいさつがいっぱいの学校にしたいです。あいさつをする人はあいさつを返されると気分がよくなるし、あいさつをされる人はあいさつをされたことによって気分がよくなると思うからです。そこで、今年の子童会のスローガンは、「笑顔輝く本気の南っ子」になりました。

このスローガンを達成するために、ぼくたちは、あいさつ運動、人権集会、南っ子タイムをしています。

特に大切と思っているのはあいさつ運動です。あいさつ運動は、8時から8時15分までの15分間としています。最近では、全体的に、あいさつをする人が増えたり、あいさつの声が大きくなっており、とてもうれしいです。

このようなあいさつが、地域にも広がれば、人と人がつながる町ができるのではないのでしょうか。

そこで質問です。別府市で取り組んでいるあいさつ運動はありますか。それはどのようなものですか。また、ぼくたちに協力できることはありますか。教えてください。お願いします。

○副議長（永田敦寧さん） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えします。

児童会のスローガン「笑顔輝く本気の南っ子」を達成するために、吉野議員をはじめ南小学校児童全員が、あいさつ運動や人権集会、なかよしタイムをしていることは、学校を楽しく生き生きしたものにする上で素晴らしいことと思います。

さて、「あいさつ運動」ですが、児童会、生徒会、PTAの方々や地域の方々によるものがあり、朝校門の前に立ってのあいさつもありますし、街角に立ってのあいさつもあります。

吉野議員の言われる「僕たちにできること」には、あいさつ運動や人権集会、なかよしタイム以外のことを言われていると思います。

例えば、地域の行事に参加することではないのでしょうか。地域の方々とつながっていくために、別府市の小中学校にコミュニティ・スクールを導入しようと考えております。地域の方と行事やいろいろな活動を通して親しくなれることが期待できます。

吉野議員の言われる「人と人がつながる」は、相手を知ることと思います。地域の方々の優しさを身近に感じるとともに、吉野議員の優しさも地域の方々に伝わることと思います。

○副議長（永田敦寧さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 吉野吏議員のご質問にお答えいたします。

児童生徒と先生方、そして保護者の方々や地域の方々が、これまでも学校にかかわってきておりました。朝の交通指導、校区のパトロール、地区の清掃、地区の温泉や行事の運営など、児童・生徒の皆さんには地域の方々のかかわりが見えるものもあれば、見えにくいものもあつたのではないのでしょうか。

吉野議員をはじめ児童の皆さん、保護者の方々や地域の方々、そして先生方がよりつながる学校になっていくよう、これからも取り組んでいきたいと考えています。人と人がよりつながる町となっていくよう、吉野議員もぜひ、地域のいろいろな行事や活動に積極的に参加し、友達にも呼びかけてください。

地域を想う気持ち、別府全体を想う気持ちをこれからも大切にしてください。
貴重な質問をありがとうございました。

○副議長（永田敦寧さん） 吉野君。

○2番議員（吉野吏君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（永田敦寧さん） 次に、6番議員、鶴見小学校の衣川美紗子さんの一般質問をお願いいたします。

[6番議員 衣川美紗子さん、登壇]

○6番議員（衣川美紗子さん） 鶴見小学校では、月に一回みんなで草を取ったり、カンやおかしの袋などを拾って、学校などでみんなが遊びやすくしたりする取り組みを行っています。

けれど、校区内に私たちが自然と自由にふれあえる場所がありません。道路を広くしたり、お店などを増やしたりして、自然がどんどん減っています。友達や知り合いに話を聞くと、昔は今と比べて自由に遊べる自然豊かな場所がたくさんあったそうです。秘密基地を作ったり、木にのぼったり、木にブランコをつけたりすることができた昔をとてもうらやましく感じます。

道路を広くしたり、お店などを増やしたりして人が住みやすい町をつくることも大切ですが、ゴミを拾ったり木を植えたりして自然を増やすことも大切だと思います。

そこで質問です。別府の自然を増やす市の取り組みはありますか。また私たちに出来ることがあれば教えてください。お願いします。

○副議長（永田敦寧さん） 生活環境部長。

○生活環境部長（浜口善友君） お答えいたします。

別府市では豊かな自然や温泉資源を守り、市民の皆さんが自然とともに生きる社会の実現を目指し、様々な環境に関する取り組みを総合的、計画的に推し進めるため、「第2次別府市環境基本計画」を作りました。その計画の中でも、今ある自然を大切にし、うるおいと安らぎのある街にするために、一人でも多

くの市民が自然に触れ合えるよう、自然から学ぶ機会を増やしたり、街の中の緑をもっと増やせるよう取り組んでいくことを計画しています。

私たちのまち、「別府」は豊かな山並みときれいな海そして豊かな温泉に恵まれ、国際観光温泉文化都市として栄えてきました。こうしたすばらしい環境を守るために、別府市民とともに自然を生かし、豊かで住みよいまちづくりに全力を挙げて取り組む必要があると考えております。

○副議長（永田敦寧さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 衣川美沙子議員の質問にお答えします。

衣川議員においては、鶴見小学校の皆さんと一緒に、月に一度、身近な場所でごみ拾いをさせていただきありがとうございます。衣川議員のような方が、増えていけば別府市の環境はもっと良くなると確信しています。

また、豊かな自然が減っているとありますが、人間の利便性だけで開発が進み、自然が破壊されるのは大変悲しいことです。自然を保護することと利便性のバランスを取ることが非常に大事だと考えます。

別府には、世界に有数の温泉や自然があり、別府市を訪れた多くの人によるこんでもらえるように「住んでよし、訪れてよし」の環境みらい都市別府のまちづくりを進めていき、自然とともに生きることのできる社会の実現を目指していきたいと思えます。

多くの人々が別府の豊かな自然にもっと触れる機会を増やしていただけるよう努力してまいります。

衣川議員におかれましては、今後も人を想う気持ちと同様に、自然を想う気持ちをぜひ大切にしてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（永田敦寧さん） 衣川さん。

○6番議員（衣川美紗子さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（永田敦寧さん） これをもって一般質問を終結いたします。

休憩いたします。

午後3時29分 休憩

午後3時40分 再開

○議長（時枝真暉君） 再開いたします。

日程第5により、提言を行います。提言者は4名です。提言順位により、提言を行います。

最初に、18番議員、朝日中学校の江原優斗君に提言の発表をお願いいたします。

[18番議員 江原優斗君、登壇]

○18番議員（江原優斗君） 別府は観光の町だと思います。だからこそ、今以上に観光に力を入れるべきだと思います。そこで、いま別府に来ている方々以上に観光に来る人を増やすために、障がいを持った方々が気軽に、来ることができるようになれば、もっと多くの人に別府に来てもらえると思います。

例えば、障がいを持った方が気軽に観光することができるようなコースを、別府市の公式ホームページに地図で載せ、自由にプリントアウトができるようにすれば、簡単に観光のコースを決めることができると思います。また、多くのコース、例えば、車いすの方や目が不自由な方が周りやすいコースなどを提示することができれば、より多くの方が観光に来てくれるのではと考えました。

結論としましては、別府市公式のサイトに観光コースを提示し、自由にプリントアウトできるようにするというのはいかがでしょうか。

○議長（時枝真暉君） 市長。

○市長（浜田 博君） 江原優斗議員のご提言にお答えいたします。

別府市を訪れるお客様の中には、体の不自由な方や高齢者の方など様々な観光客の方がいます。

現在、別府市公式ホームページの観光情報サイトでは、一般的な観光パンフレットについては、ダウンロードできますが、様々な障がいを持つ方々に十分対応しているとは言えないという現状があります。

しかしながら、別府市では、「障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる別府市条例」の制定を目指して、取り組んでいるところです。

今後は、施設のバリアフリー化だけでなく、パンフレットやホームページなどあらゆる分野でのバリアフリー化を目指して、情報提供の内容や方法などについて調査研究を重ねたいと考えています。

江原議員の障がいを持つ方々に対する優しい思いやりやおもてなしの気持ちをこれからも大切にしてください。

貴重なご提言ありがとうございました。

○議長（時枝真暉君） 次に、19番議員、鶴見台中学校の清末太一君に提言の発表を

お願いいたします。

[19番議員 清末太一君、登壇]

○19番議員（清末太一君） ここ最近、国際化が進んできているとよくテレビで見聞
きします。別府にもAPUがあり、多くの留学生が学んでいます。APUの学
生さんをお呼びいただき、本場の英語に触れると同時に世界の文化について知
る機会を増やすことで、世界に対する興味や関心が深まり、英語学習の意欲も
高まると思います。

僕自身、小学校にAPUの学生さんが来てくださった時、日本とは違う文化
や日本人では出しにくい発音をわかりやすく教えていただき、わくわくして楽
しかったのを今でも覚えています。

英語学習を充実させる大切さが言われていますが、それには、まず英語を好
きになることだと思います。そのためにもAPUの学生さんと一緒に小学校の
頃から英語を使った遊びを盛んに行い、英語を好きになってから中学校に入り、
また、APUの学生さんと一緒に英語を学び英語学習を充実したものにしたら
よいのではないのでしょうか。

○議長（時枝真暉君） 市長。

○市長（浜田 博君） 清末太一議員のご提言にお答えいたします。

清末議員の英語学習をもっと充実したものにしたいと考えていることに感心
しました。

別府市は国際観光温泉文化都市として、立命館アジア太平洋大学いわゆるA
PUを誘致いたしました。これまでに、清末議員の言われるとおり、APUの
学生さんたちに小学校・中学校の国際理解教育や、公民館の英語教室において
協力していただいております。

その中で、清末議員が感じた「わくわくして楽しい」体験を、一人でも多く
の児童・生徒に知ってもらいたいと願っています。また、このような場を設け
ることで、世界の国々に関心を持ち、国際社会で生きていく別府市民を育てて
いきたいと考えています。

そんな市民を育てていく上で、世界の人々と会話のできることが大切である
と考えております。そのためには、世界共通語である英語を話せることが不可
欠であると感じております。

清末議員の言われる「英語を好きになって中学校へ」という願いを、少しずつではありますが広めているところであります。

現在、亀川小学校において、APUの学生ボランティアが放課後英語教室を行っております。ゆくゆくは、別府市内に広げていこうと考えております。そして、清末議員の描くAPUの学生さんたちと英語学習のできる中学校も未来の展望として考えております。そうしていくことで、英語の話せる中学生、外国の方と直接コミュニケーションをとれる中学生になっていただきたいと思っております。

貴重なご提言ありがとうございました。

○議長（時枝真暉君） 次に、17番議員、中部中学校の工藤帆夏さんに提言の発表をお願いいたします。

[17番議員 工藤帆夏さん、登壇]

○17番議員（工藤帆夏さん） 私の学校には、休み時間に一人で過ごしている人がいます。多分その人は、友達の手に入りづらいのだと思います。私も、自分たちができる一人の人をつくらない取組みをいろいろと考えました。まず、自分から話しかけてみるなど、ちょっとした勇気を出すことです。

一方、相談に乗ってくれてアドバイスをしてくれる大人がいると、とても心強いです。

そこで私は、別府市全体の小中学校に、スクールカウンセラーの先生を1校に1人配置してはどうかと考えました。私の学校にも先生は来ていますが、毎日ではありません。それでは、みんなが親しくなれず、気軽に相談しに行く人も限られます。また、一人で過ごしている人たち以外にも、悩みはあると思います。そんな人たちの中にもスクールカウンセラーの先生に話を聞いてもらいたいという生徒もいると思います。全校生徒が気軽に相談でき、一人で抱えていた不安が少しでも軽くなるようにスクールカウンセラーの先生を1校に1人配置していただくことです。もし実現できれば、一人の人をつくらない学校の取組みに大きな影響を与えてくれると思います。

○議長（時枝真暉君） 市長。

○市長（浜田 博君） 工藤帆夏議員のご提言にお答えいたします。

今、別府市では、いじめや不登校の子どもをなくそうと、先生方をはじめい

ろいろな人が力を合わせて努力しています。スクールカウンセラーの方々もその1人ですし、工藤議員のように、^{さび}寂しい思いをしている人や悩んでいる人のことを心配する心をもった児童や生徒さんたちもその1人です。

それでも、^{さび}寂しい思いをしている人や悩んでいる人が実際にいることは間違いありません。このような現状に対し、一人の人をつくらないためには、児童生徒の周りにたくさんの大人が必要であるというご提言は、まさに的を射たものであると受け止めております。

別府市では、相談を受けたりアドバイスをしたりする役目としてスクールカウンセラーとスクールサポーターを配置していますが、工藤議員からご提言いただいたように1校に1名の配置はまだできておりませんので、引き続き全校配置に向け、努力を続けて参りたいと思います。

工藤議員におかれましては、周りの友だちに目を向け、思いやり、そして、このように言葉にすることのできる優しさと勇気を、いつまでも大切にしてください。

貴重なご提言をありがとうございました。

○議長（時枝真暉君） 次に、16番議員、青山中学校の高瀬さくらさんに提言の発表をお願いいたします。

[16番議員 高瀬さくらさん、登壇]

○16番議員（高瀬さくらさん） 今の介護士の現状は、他の業種と比べて高い給料とは言えません。夜勤があったり、祝日の当番があったりと精神的、肉体的にハードな割に給与が見合っていないと言われ、^{りしょく}離職をする人もいます。私の祖母も介護士でしたが、とても大変そうでした。

では介護現場で働く人が働きやすい環境にするためには、どうすればよいのでしょうか。

私はまず、労働に合った給料にするべきだと思います。今、日本は高齢化が進んでいて、介護施設がもっと必要になります。だからこそ、介護施設の問題は国の問題だととらえ、国がちゃんと話し合っていくべきだと思います。そして、給料が増え、離職が減り、働く人が増えていけば、精神的にも肉体的にも一人一人の負担が減り、働きやすい環境になるのではないかと思います。

○議長（時枝真暉君） 市長。

○市長（浜田 博君） 高瀬さくら議員のご提言にお答えいたします。

介護現場で働くヘルパーさん達の現状として、仕事が大変な割に給料が高くないという現実には、私も高瀬議員と同じように心を痛めております。

介護保険は、おおむね65歳以上の高齢者の方たちのための制度ですが、それに必要な財源は、40歳以上の方が納める介護保険料と国県市の公費で半分ずつ負担するように介護保険法で定められています。

このため、ヘルパーさんたちの給料を上げると、介護保険料も値上げしなければならなくなっており、新たな負担となってしまいます。

別府市では、介護保険料の負担が、今以上に大きくなるよう国に対して要望を続けております。

これからも、お年寄りの数が増えて高齢化社会が進んでいくため、現場で働くヘルパーさんの果たす役割も大きくなっていきます。今後もヘルパーさんたちの労働条件が少しでも改善されるように、国や県とも連携して努力していきたいと思っております。

貴重なご提言、ありがとうございました。

○議長（時枝真暉君） 以上で、提言の発表を終結いたします。

次に、日程第6「子ども議員提出議案第1号 私たちが誇れる町・別府 子ども宣言」及び「子ども議員提出議案第2号 いじめのない学校を目指して子ども宣言」を一括上程議題といたします。

まず、議員提出議案第1号について、提出者の21番議員、浜脇中学校の田川美綺さんから、提案理由の説明をお願いいたします。

[21番議員 田川美綺さん、登壇]

○21番議員（田川美綺さん） 子ども議員提出議案第1号は、お手元に配付しております宣言書を読み上げて、提案理由の説明にかえさせていただきます。

「私たちが誇れる町・別府」

子ども宣言

2011年に起きた東日本大震災により、原発の事故が起きました。以降、新しい電力の開発が急務となりました。

私たちが住んでいる別府市には、「温泉」という宝があり、地熱発電の先端地として注目が集まっています。私たちにとって、温泉がエネルギーとして活

用されるような環境に優しい故郷別府は、とても誇らしく、期待に胸が膨らみます。

温泉をはじめ、別府ならではの魅力を私たちの手で広げ、多くの人に知ってもらいたいと心から願います。

私たち一人ひとりが、故郷別府に愛着と誇りを持ち続けることが、故郷の更なる進歩と発展を生み出すと信じて、次のことを誓います。

- 1 身近な環境への意識を高め、ゴミの分別・資源のリサイクルなど身近にできることから取り組んでいきます。
- 2 別府を訪れた方々が、心安らぐ時を過ごせるよう、積極的にコミュニケーションをとっていきます。
- 3 地域の活動やボランティア活動に積極的に参加し、お互いが助け合い、絆の深まりを感じる別府をつくっていきます。

以上のことを宣言いたします。

平成25年7月26日

べっぷ子ども市議会

なにとぞ、子ども議員、皆様のご賛同をよろしくお願い申し上げます。

○議長（時枝真暉君） 以上で、提案理由の説明は終わりました。

これより、採決を行います。

お諮りいたします。

ただいま提案されました「子ども議員提出議案第1号」については、原案のとおり決することに、賛成の皆様のご起立をお願いいたします。

[賛成者起立]

○議長（時枝真暉君） 起立全員です。

よって、「子ども議員提出議案第1号 子ども宣言について」は、全員一致をもって原案のとおり可決されました。

ご着席ください。

次に、議員提出議案第2号について、提出者の22番議員、北部中学校の永田敦寧さんから、提案理由の説明をお願いいたします。

[22番議員 永田敦寧さん、登壇]

○22番議員（永田敦寧さん） 子ども議員提出議案第2号は、お手元に配付しております宣言書を読み上げて、提案理由の説明にかえさせていただきます。

「いじめのない学校を目指して」

子ども宣言

最近、いじめにより心を痛め、登校できなくなったり、心の病となったり、自殺に至るなどの児童・生徒が増えてきています。

そこで、先日、7月6日に、県内小中学校の代表者が大分県庁に集い、大分県いじめゼロ子どもサミットが開催され、「大分県いじめゼロ宣言」が採択さいたくされました。

宣言文は以下のとおり、小学校では、

【いじめのめ つみとるきみは ヒーローだ】をスローガンとし、

- 1 私たちは、悪口やかげ口は絶対に言いません。そして、暴力は、絶対にしません。
- 2 私たちは、いじめを見て見ぬふりをしません。
- 3 私たちは、困った時は、だれかに助けを求めてでも解決をめざします。
- 4 私たちは、個性を尊重し、いろいろな人の立場からものごとを考えます。
- 5 私たちは、思いやりと優しさをわすれず、友だちと助け合います。

中学校では、

【持て勇氣 ゼツタイいじめ ゆるさん県】をスローガンとし、

- 1 私たちは、思いやりを持った行動をします。
- 2 私たちは、いじめに気付き、手を差しのべます。
- 3 私たちは、自分と同じだけ仲間を大切にします。
- 4 私たちは、互いを認め合い尊重します。
- 5 私たちは、仲間の心のサインを見逃しません。

といった内容でした。

私たち別府市の小中学校でも、この宣言を生かし、いじめのない学校、温泉のような心温かく明るい学校を目指すために努力することを宣言いたします。

平成25年7月26日

べっぷ子ども市議会

なにとぞ、子ども議員、皆さんのご賛同をよろしくお願い申し上げます。

○議長（時枝真暉君） 以上で、提案理由の説明は終わりました。

これより、採決を行います。

お諮りいたします。

ただいま提案されました「子ども議員提出議案第2号」については、原案のとおり決することに、賛成の皆さんのご起立をお願いいたします。

[賛成者起立]

○議長（時枝真暉君） 起立全員です。

よって、「子ども議員提出議案第2号 子ども宣言について」は、全員一致をもって原案のとおり可決されました。

ご着席ください。

以上で、本日の議事はすべて終了いたしました。

お諮りいたします。

第11回「べっぷ子ども市議会」を閉会いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（時枝真暉君） ご異議なしと認めます。

よって、以上で第11回「べっぷ子ども市議会」を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午後4時06分 閉会

[閉 会 式]

○市議会事務局（穴井寛子君） 皆さまお疲れさまでした。

それでは、議長は議員席へお戻りください。

ただいまから、第11回「べっぷ子ども市議会」の閉会式を行います。

浜田博市長より、ごあいさつを申し上げます。

○別府市長（浜田 博君） 皆さん、きょうは本当にありがとうございました。

小学生と中学生による「べっぷ子ども市議会」、ことしで第11回目となり、すっかり定着して恒例となりました。

一般質問では、皆さんの目の前の問題である、福祉問題、環境問題、観光問題、教育の問題、そしてまちづくりの問題、そういった全ての行政分野に及んだ観察力の鋭い質問をいただきました。皆さんのふるさと別府を想う心温まる質問や貴重な質問ばかりでした。本当にありがとうございました。

そして、中学生の皆さんからいただいた提言、どれもすばらしいものでした。皆さんが住む別府をよくしたい、そして、安心して過ごせるまちにしたいという別府への想い、本当に感動しました。

そして、別府市の発展に向けて、皆さんの心のこもった「私たちが誇れる町・別府」子ども宣言、そして、仲間を思いやる優しい気持ちのあふれる「いじめのない学校を目指して」子ども宣言をしていただきました。この2つの宣言を実現できるように、私たちみんなが頑張っていかなければならないなと感じました。

きょう、「べっぷ子ども市議会」に出席した貴重な体験を、これからの勉学に生かしていただいて、ひとまわりも、ふたまわりも、大きくなってほしいと思います。皆さんの成長を、心から期待しております。

終わりにになりましたが、第11回「べっぷ子ども市議会」の開催に大変なご尽力をいただきました別府市子ども会育成会連合会、別府市PTA連合会の皆さま方、保護者の方々、学校の先生方、そして、別府市議会子ども会を支える議員連盟の皆さま方に、心から感謝を申し上げます。

きょうは、本当にありがとうございました。

○市議会事務局（穴井寛子君） 続きまして、寺岡悌二教育長より、本日ががんばっていた

いただきました子ども議員の皆さん方に、記念品を贈呈いたします。

代表 東山中学校 上園田 明真海 さん。

[20番議員 上園田明真海さん、議場中央フロアに立つ]

○教育長（寺岡悌二君） 緊張されたと思いますが、実によくがんばりました。これからも、別府市のためにも、将来のためにも、自分のためにも、力強く生きていってほしいと思います。本当にお疲れさまでした。

[教育長より記念品贈呈]（拍手）

○市議会事務局（穴井寛子君） ここで、子ども議員を代表して、上園田明真海さんからお礼の言葉があります。

子ども議員、執行部並びに主催者の方は、ご起立願います。

[全 員 起 立]

○子ども議員代表（上園田明真海さん） 今日は、この「べっぷ子ども市議会」に参加させていただき、ありがとうございました。

私は、この会に参加して、別府市で行われている一つ一つのことに対して、自分の考えをもち、この街をよりよくするためにどうすればよいか、いろいろな方の意見を聞いて話し合っていくことが大切だと、改めて感じました。

これから私は、教育や福祉、別府市の自然環境などの様々なことに興味をもち、よりよいまちづくりについて、自分の意見をもっていきたいと思います。

最後になりましたが、この「べっぷ子ども市議会」をもってくださった、浜田博別府市長はじめ、関係者の方に心からお礼を言いたいと思います。このような貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

これからも、多くの小学生、中学生が参加し、ともに考え行動していける「子ども市議会」であってほしいと願っています。

（拍手）

○市議会事務局（穴井寛子君） それでは、皆さまご着席ください。

[全 員 着 席]

○市議会事務局（穴井寛子君） 以上をもちまして、第11回「べっぷ子ども市議会」閉会式を終了いたします。

「私たちが誇れる町・別府」 子ども宣言

2011年に起きた東日本大震災により、原発の事故が起こりました。以降、新しい電力の開発が急務となりました。

私たちが住んでいる別府市には、「温泉」という宝があり、地熱発電の先端地として注目が集まっています。私たちにとって、温泉がエネルギーとして活用されるような環境に優しい故郷別府は、とても誇らしく、期待に胸が膨らみます。

温泉をはじめ、別府ならではの魅力を私たちの手で広げ、多くの人に知ってもらいたいと心から願います。

私たち一人ひとりが、故郷別府に愛着と誇りを持ち続けることが、故郷の更なる進歩と発展を生み出すと信じて、次のことを誓います。

- 1 身近な環境への意識を高め、ゴミの分別・資源のリサイクルなど身近にできることから取り組んでいきます。
- 2 別府を訪れた方々が、心安らぐ時を過ごせるよう、積極的にコミュニケーションをとっていきます。
- 3 地域の活動やボランティア活動に積極的に参加し、お互いが助け合い、絆の深まりを感じる別府をつくっていきます。

以上のことを宣言いたします。

平成25年7月26日

べっぴ子ども市議会

「いじめのない学校を目指して」 子ども宣言

最近、いじめにより心を痛め、登校できなくなったり、心の病となったり、自殺に至るなどの児童・生徒が増えてきています。

そこで、先日、7月6日に、県内小中学校の代表者が大分県庁に集い、大分県いじめゼロ子どもサミットが開催され、「大分県いじめゼロ宣言」が採択されました。

宣言文は以下のとおり、小学校では、

【 いじめのめ つみとるきみは ヒーローだ 】 をスローガンとし、

- 1 私たちは、悪口やかげ口は絶対に言いません。そして、暴力は、絶対にしません。
- 2 私たちは、いじめを見て見ぬふりをしません。
- 3 私たちは、困った時は、だれかに助けを求めてでも解決をめざします。
- 4 私たちは、個性を尊重し、いろいろな人の立場からものごとを考えます。
- 5 私たちは、思いやりと優しさをわすれず、友だちと助け合います。

中学校では、

【 持て勇氣 ゼツタイいじめ ゆるさん県 】 をスローガンとし、

- 1 私たちは、思いやりを持った行動をします。
- 2 私たちは、いじめに気付き、手を差しのべます。
- 3 私たちは、自分と同じだけ仲間を大切にします。
- 4 私たちは、互いを認め合い尊重します。
- 5 私たちは、仲間の心のサインを見逃しません。

といった内容でした。

私たち別府市の小中学校でも、この宣言を生かし、いじめのない学校、温泉のような心温かく明るい学校を目指すために努力することを宣言いたします。

平成25年7月26日

べっぴ子ども市議会

この会議録の内容が間違いないことを確認し
署名します。

平成25年 7月26日

べっぷ子ども市議会

議 長 時枝 真輝

副議長 永田 敦寧

会議録署名議員 秦 優希菜

会議録署名議員 縄田 要徳



列府市議会子ども会を
支える議員連盟 会長
首藤 正

子ども議員の皆さんが身近な事柄に耳を傾け、大人では発想の及ばない純真な質問や提言に、昨年にも増して非常に感心いたしました。

これからも、皆さんが、今回の子ども市議会での経験を大切にして、大人になっても“ふるさと別府”を愛し、そしてどうしたらもっと住みよいまちになるのかを考えていただければ、きっと素晴らしい別府になることと思います。

私ども（別府市議会子ども会を支える議員連盟）も、別府の子どもたちの健全な成長を見守り続け、また子どもたちとともに、夢のあるまちづくりに一層励んでいきます。

ご家族、地域の皆さん、先生方、市P連の皆さん、そして市子連の皆さんには、別府の子どもたちへの、なお一層の温かいご指導とご支援をお願いいたします。



列府市教育長
寺岡 悌二

子ども議員のみなさんが、自分の体験を通して発見したよいところや困ったところから、学校や地域をさらに活性化する方法を考え、質問や提言をしていることに感心しました。

また、「私たちが誇れる町・別府」「いじめのない学校を目指して」の2つの子ども宣言からは、自分たちにできることを取り決め、積極的に取り組んでいこうという強い意志を感じました。

自分の思いをしっかりと伝える姿はもちろん、相手の思いをきちんと受け止める態度も大変立派でした。これから、別府市政に益々関心を寄せ、将来の別府を担う人に成長されることを期待しています。

教育委員会といたしましても、子どもたちの願いが活かされるよう、今後も努力してまいります。



列府市子ども会
育成会連合会 会長
池辺 栄浩

今年も、素晴らしい内容のある子ども市議会を終了することが出来ました。23名の子ども議員の皆さんのふるさと別府を想う質問、提言そして立派な姿に感動しました。

また、子ども市議会終了後に行われた記念写真撮影時の子ども議員の皆さんの重圧から解放された最高の笑顔を見ることができ”ホッ”としました。この貴重な経験が、今後の人生の糧となり将来の別府を担っていく人になってください。期待しています。

私たち市子連は、会員数減少で年々厳しい状況ですが、別府の子どもの健全育成のために、安心・安全な環境整備と学校外の社会体験の場の提供を展開していきます。今後とも皆さんのご支援とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、ご尽力いただいた関係各位に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



列府市PTA連合会
副会長
大久保 毅

知恵は過去に学び、希望は未来に紡ぐと言いますが、子ども議員の皆さんの「なぜ」という思いから始まった様々な提言、インフラ整備、介護問題、観光地としての環境作りなど、現在の別府市が抱える問題点を身近な所から体感し、子ども議員の皆さんの目線から質問されました。内容的確さに感銘を受け、別府の未来に大きな希望を見ることが出来ました。

子ども達の未来に向かっての思いが叶うように、我々大人は良き知恵者として未来への橋渡しができるよう、新たに決意いたしました。

私たち別府市PTA連合会は、今後も子ども達一人一人の個性を大事にし子どもを真ん中に置いたPTA活動を心がけ力を尽くしてまいります。

別府市の子ども達の明るい未来を信じ、関係各位に心より感謝を申しあげ、子ども市議会のさらなる発展を、保護者を代表いたしましてご祈念申し上げます。